

取扱説明書・保証書

販売元／保証者 **シチズン時計株式会社**
 本社 〒198-8511 東京都東大塚市田原町6-1-12

AEC07®・CT07Z

商品名	
側番号	
一連番号	
お客様 ご氏名	様
住所 販売店 店名	印
お買上げ日	年 月 日
保証期間	お買上げ日より1年間

※本保証書は日本国内のみ有効です。
 ※THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN.

<保証規定>

この時計をご使用中、取扱説明書にそった正常なご使用状態で自然故障が生じた場合には、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。

■保証の対象となる部分
 ワオッチの回路、コイル等電気部品、歯車等機械部品

■保証の態様（方法）
 修理・調整を原則といたします。
 ●部バンド、ウレタンバンド、電気交換及び使用中に生じる外観上の変化（ガラス、ケース、バンド類の小傷、汚し）
 ●部品品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。

■保証を受けるための条件（手続）
 保証規定による修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買上げ店にご持参ください。ご照会・ご相談などにより、お買上げ店での保証を受けられない場合は弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

■保証の適用除外
 ●保証期間中でも次の場合は有料修理となりますのでご了承ください。
 ●部バンド、ウレタンバンド、電気交換及び使用中に生じる外観上の変化（ガラス、ケース、バンド類の小傷、汚し）
 ●お客様ご自身による修理・改造または、誤ったご使用や不注意による故障及び損傷。
 ●保証書のご提示がない場合。
 ●保証書にお買上げ店名及びお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは印を消去された場合。
 ●天災・火災・事故などによる故障及び損傷。

※保証書に記載されている個人情報保護の保証に関する以外には使用いたしません。
 ※修理期間の保有期間などについては取扱説明書をご参照ください。
 ※保証に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を保障するもので、これによりお客様の法的上の権利を制限するものではありません。

保証とアフターサービス

<保証について>
 正しくご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。保証書は日本国内のみ有効です。

<修理用品の保有期間について>
 弊社は時計の機能を維持するための修理用品を、通常4年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・フッシュポット/バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>
 弊社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間の修理による精度の劣化は、修理による初期精度の復元が困難な場合があります。

<転居・ご購入者の場合>
 保証期間中にご転居されたり、ご購入者のためにご使用の時計がお買上げ店へのアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

<定期点検（有償）について>
 ●防水性能について
 防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2〜3年に一度防水検査を行っていただくをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、バックアップなどの交換をご依頼ください。

●分解掃除（内装修理）について
 時計を長くご使用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してまいります。これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年〜一度ご分解掃除のご依頼をお勧めします。

<修理について>
 時計の品質を維持するために、この時計は/バンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理の際は必ず弊社にお持ち込みにて依頼してください。

<その他のお問い合わせについて>
 保証や修理、その他のお問い合わせがございましたら、お買上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

ソーラーテック取り扱ひ上の注意

《時計は常に充電をながけてお使いください》

- 日常長袖などを着用しているとき、時計が覆れて光に当たらないため、充電不足を招いてしまうのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

▲ **注意** 充電上での注意

- 充電の時に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
 ※ 自然光で充電するときは、必ず50cm以上離れた場所で充電するように注意して充電してください。

▲ **警告** 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでしまうと時計は作動しない構造になっております。無理に接続された、他の種類の電池を使用し、万一充電されると過充電となり電池が破損して時の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。正しくお使いください。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ぜひお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

1. 各部の名称

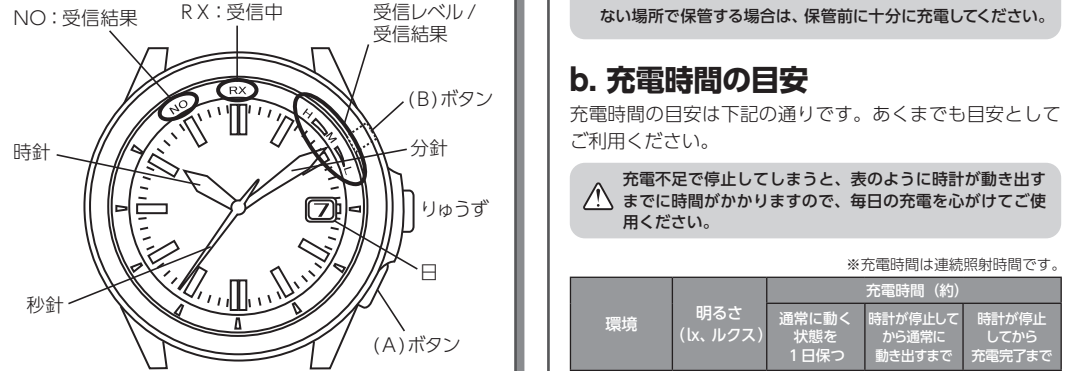
a. ボタンとりゅうず

電波受信の結果の見かたは「3-d 電波受信結果の確認」をご覧ください。

※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。
 ※ボタンの形状はモデルによって異なる場合があります。

受信結果を針先で示すタイプ

NO:受信結果 RX:受信中 H, M, L: 受信レベル/受信結果



デザインによっては受信結果を針の尾で示すものもあります。

◆ **特殊な構造のりゅうずについて**

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずの構造があります。

■ **ねじロックりゅうずの使い方**
 時計を操作するときは、ロックを解除してください。

ロックを解除する	再びロックする
----------	---------

■ **隠しボタンの使い方**
 ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

◆ **回転ベゼル付きの場合は**
 回転ベゼルの、経過時間や設定した時間に対する残り時間を知るのに利用することができます。

◆ **経過時間を測定する**
 回転ベゼルのマークを現在の分針の位置に合わせます。
 経過時間（分）を回転ベゼルの目盛りから読み取れます。

◆ **残り時間を知る**
 回転ベゼルのマークを目標時刻（60分以内）の位置に合わせます。
 分針からマークまでの分針が残り時間です。

◆ **過充電防止機能**

- 十分に充電された後は、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能がかかります。
- どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響を及ぼす心配はありません。

◆ **パワーセーブ機能**

- 文字板（ソーラーセル）に光が当たらず、発電できない状態が1週間連続した場合は、時計の一部を止めて節電状態に入ります。パワーセーブ中は、精度範囲内で時刻を刻んでいます。
- パワーセーブはりゅうずやプッシュボタン操作では解除できません。文字板（ソーラーセル）に光を当ててください。

お取り扱いにあたって

▲ **警告** 防水性能について

時計のガラス部分や金属部分（裏蓋、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

<保護シールについて>
 時計のガラス部分や金属部分（裏蓋、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

名称	文字板または裏蓋	仕様	使用例
非防水時計	—	非防水	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	3気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○

▲ **注意** 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計をはずすなどご注意ください。
- 強い衝撃や暴風などを加えるときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。

2. 充電する

a. 充電する

文字板に直射日光や、蛍光灯の光を当てて充電します。

◆ **上手な充電のポイント**

- 時計を外したときも、時計の文字板面に太陽光が当たる、明るい場所に置くこと、常に時計は正しく動き続けます。
- 日常長袖などを着用しているとき、時計が覆れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 月に一度は直射日光を当てて、充電してください。光の当たらない場所で保管する場合は、保管前に十分に充電してください。

b. 充電時間の目安

充電時間の目安は下記の通りです。あくまでも目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx, ルクス)	通常に動く状態を1日保つ	充電時間 (約)	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	2時間	10時間
屋外（曇天）	10,000	10分	13時間	45時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	35分	45時間	150時間
屋内照明	500	3.5時間	70時間	740時間

※充電時間は連続照射時間です。

◆ **電波受信可能地域の特長**

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

a. 定時受信

受信結果を確認するには、4時位置にある(A)ボタンを押し、受信結果を確認してください。秒針が「H、MまたはL」を示した場合は、受信が正しく行われたことをお知らせします。秒針が「NO」を示した場合は、受信ができなかったことをお知らせしていますので、強制受信を行ってください。

b. 強制受信

いつも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

《受信の手順》

1. 4時位置にある(A)ボタンを約2秒押し、秒針がRXに移動したことを確認して、ボタンを離してください。
2. その後、秒針がRXから受信レベル「H、M、L」のいずれかに移行します。

◆ **復活自動受信**

充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

◆ **電波受信可能地域の特長**

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

3. 電波を受信して時刻を合わせる

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

a. 定時受信

受信結果を確認するには、4時位置にある(A)ボタンを押し、受信結果を確認してください。秒針が「H、MまたはL」を示した場合は、受信が正しく行われたことをお知らせします。秒針が「NO」を示した場合は、受信ができなかったことをお知らせしていますので、強制受信を行ってください。

b. 強制受信

いつも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

《受信の手順》

1. 4時位置にある(A)ボタンを約2秒押し、秒針がRXに移動したことを確認して、ボタンを離してください。
2. その後、秒針がRXから受信レベル「H、M、L」のいずれかに移行します。

◆ **復活自動受信**

充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

◆ **電波受信可能地域の特長**

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

4. 基準位置確認と修正

電波時計は基準位置をもとにして、受信した電波時刻を針で表します。外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。ずれた状態で使用されると、電波を受信しても時刻が正しく表示されません。電波受信しても時刻が正しくない場合は、基準位置を確認し、修正してください。

a. 基準位置の確認

(B)ボタンを約10秒押しします

時計が左右にデモンストレーション時計した後、秒針が正転または逆転で動きはじめたら

(B)ボタンを離します

すべての針が高速で時計し、時計の記憶している基準位置に戻ります

基準位置が正しい場合と各針:0時00分00秒/日:31と1の間ずれた場合は、「基準位置の修正」を行ってください。

b. 基準位置の修正

1. りゅうずを2段引き位置にし、日を31と1の中間に合わせ、時計を12時に合わせます。
 ※ りゅうずを連続回転（2クリック以上）させると、時計が連続回転を止めるには、りゅうずを左右どちらかに回す必要があります。日が31と1の中間を表示した後、時計が12時を指すまで、りゅうずをゆっくり回してください。
2. りゅうずを2段引き位置にし、りゅうずを回して秒針と分針を00分00秒に合わせます。
 りゅうずを1クリックすると秒針が1秒進み、秒針に合わせて分針も進みます。
3. りゅうずを通常位置にもどし、(B)ボタンを押します。
 ※ 各針と日が高速で現在時刻に戻ります。
4. 強制受信を行って正しい時間に合わせます。

◆ **受信結果の表示位置**

電波受信結果などは、秒針が文字板上の結果表示位置を指し示すことで分かるようになっています。

《確認手順》

- (A) ボタンを1秒押しします

電波受信結果表示位置に秒針が移動します

H, M, L のいずれれかを示したとき
 NO : 電波受信失敗です。強制受信または環境を変えて受信を行ってください。

◆ **受信結果の表示位置**

電波受信結果などは、秒針が文字板上の結果表示位置を指し示すことで分かるようになっています。

5. オールリセックについて

1. りゅうずを2段引き位置にし、(A)、(B)ボタンを同時に押しします。
2. りゅうずのまま秒針と分針を00分00秒に合わせます。
3. りゅうずを1段引き位置にして日を31と1の中間に合わせ時計を12時に合わせます。
4. りゅうずを通常位置にもどし、時刻が合わない場合は時刻、カレンダーご合わせを行ってください。

6. 手動で時刻を合わせる

この時計は、海外など電波が届かない地域で使用する場合は、手操作で時刻やカレンダーを合わせる必要があります。電波が届く地域に戻ったときは、定時受信または強制受信を行ってください。

a. 時刻の合わせ方

1. りゅうずを2段引き位置に引き出します。
 ● 秒針が正転または逆転で0位置へ進み、停止します。
2. りゅうずを回して時刻を合わせます。
 1クリックで秒針が1回進み、分針が1分進みます。（右回しで進み、左回しで戻ります）
3. りゅうずを素早く連続回転（2クリック以上）すると、針が連続進みます。時計が2回転すると、日が1日分切り替わります。当日の日を表示するまで時計を連続進ませてください。
 ● 連続進進を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。
4. りゅうずを回して「時刻」を合わせます。
 ○ 右に回す（1クリック）と、時計が1時間分進進（時計回り）します。
 ○ 左に回す（1クリック）と、時計が1時間分逆転（反時計回り）します。

◆ **電波受信可能地域の特長**

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

a. 定時受信

受信結果を確認するには、4時位置にある(A)ボタンを押し、受信結果を確認してください。秒針が「H、MまたはL」を示した場合は、受信が正しく行われたことをお知らせします。秒針が「NO」を示した場合は、受信ができなかったことをお知らせしていますので、強制受信を行ってください。

b. 強制受信

いつも受信を行えます。受信環境が変わり定時受信できなかった場合などに行ってください。

《受信の手順》

1. 4時位置にある(A)ボタンを約2秒押し、秒針がRXに移動したことを確認して、ボタンを離してください。
2. その後、秒針がRXから受信レベル「H、M、L」のいずれかに移行します。

◆ **復活自動受信**

充電不足で時計が止まった後、十分に充電されると、1度だけ自動的に受信を行います。

◆ **電波受信可能地域の特長**

電波受信の方法には定時受信、強制受信、復活自動受信の3つがあります。

《受信方法》
 安定した受信をするために、時計を腕から外し、9時位置を電波送信所方向に向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置いて受信してください。また、受信中は時計を動かさないでください。受信にかかる時間は、約3〜15分です。

b. 月と年（うるう年からの経過年）を修正する手順

《修正手順》

1. りゅうずを1段引き位置にします。
 ● カレンダーの修正状態になり、秒針が記憶している「月」と「年」の位置に移動し停止します。
2. りゅうずを回して、「月」と「年」を合わせます。
 ○ 右に回して（1クリック）、「月」と「年」に対応した位置に時計を合わせます。
 ○ 左に回す（1クリック）と、秒針が逆転します。
3. 月と年修正後、りゅうずを通常位置に戻してください。
 ● 連続進進を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

（例）うるう年の12月の場合:0時の位置に秒針を合わせます。うるう年から3年経過した年の4月の場合:23秒（4時と5時の間）の位置に秒針を合わせます。

注意: りゅうずを1段引きしたとき月と年から、秒針を2周以上回して修正しようとする、秒針が2周回った時点でストップし、自動的にその月と年の表示に戻ります。

3. 月と年修正後、りゅうずを通常位置に戻してください。
 ● 連続進進を停止する場合は、りゅうずを左右どちらかに回します。

（非非日に合わせた場合）
 日と合わせた後、月を変えし日が非非日になった場合、修正状態からりゅうずを通常位置に戻すと、日が自動的に翌月の1日に切り替わります。

（月と年の見方）
 ☆月の見方
 1月:1時と2時の間
 2月:2時と3時の間
 12月:12時と1時の間

うるう年: 各月のゾーンの最初の目盛り
 うるう年から1年目: 各月のゾーンの1目盛り目
 うるう年から2年目: 各月のゾーンの2目盛り目
 うるう年から3年目: 各月のゾーンの3目盛り目

（うるう年からの経過年見方表）

経過年	年	年	年
うるう年	—	2020	2024
1年目	—	2021	2025
2年目	2018	2022	2026
3年目	2019	2023	2027

うるう年については、弊社ホームページでお問い合わせいただけます。
 http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html

6. 時計のお手入れ方法

◆ **化学薬品・ガス・水銀について**

化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（付リジン・ミニキュア・クレアール・ジェル・用剤など）は、時計に付着すると、変色、変質、腐食の原因となります。また、体計針などを使用している水銀に当たると、変色、変質、腐食の原因となります。また、体計針などを使用している水銀に当たると、変色、変質、腐食の原因となります。また、体計針などを使用している水銀に当たると、変色、変質、腐食の原因となります。

（保護シールについて）
 時計のガラス部分や金属部分（裏蓋、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

▲ **注意** 時計は常に清潔に

りゅうずやプッシュボタンを長期放置しないままにしていると、付着しているゴミや汚れが回り、操作できなくなる場合があります。ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落とすようにしてください。

◆ **静電気に注意**

静電気が発生すると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。静電気を帯びた手で時計に触ると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。静電気を帯びた手で時計に触ると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。

◆ **静電気に注意**

静電気が発生すると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。静電気を帯びた手で時計に触ると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。静電気を帯びた手で時計に触ると、時計の動作に影響を及ぼす場合があります。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明（自然光を除く）などの光を蓄え、暗い場所でも光を放出させます。時間の経過とともに少しづつ明るさが減っていきます。

◆ **夜光塗料の取り扱い**

- 蓄光塗料を放出させる場合、時間の経過とともに少しづつ明るさが減っていきます。
- 光を蓄えるときは光の明るさや光源との距離、照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差が生じます。
- 光が十分に蓄えられないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまふ場合がありますのでご注意ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。正しくお使いください。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ぜひお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。